

かけはし

第 47 号



社協だより

平成 25 年 1 月 25 日発行



この社協だよりは、共同募金の
配分を受けて作成しています。

平成24年度災害ボランティア研修会



▲災害図上訓練（DIG）の様子（関連記事は2ページ）

も く じ

●「かけ・ボラ」.....	2
●集まろまいか、元気ですコーナー 他	3
●行事だより	4
●高齢者向け料理レシピ、脳トレコーナー 他	5
●施設だより	6
●日常生活自立支援事業	7
●おしらせ／予定など	8

本誌に対してのご意見・ご要望がございましたら、
下記までお寄せください。

編集・発行

社会福祉法人

揖斐川町社会福祉協議会

〒501-0603 岐阜県揖斐郡揖斐川町上南方193番地
TEL (0585)23-0411 FAX (0585)23-1678
<http://www.ibi-syakyou.jp/>
E-mail ik-syakyou@ip.mirai.ne.jp

「かけボラ」

社会福祉協議会では、ボランティアとボランティアを必要としている方を「かけはし（コーディネート）」しています。

平成24年度 災害ボランティア研修会

11月17日（土）、11月24日（土）、12月8日（土）の3日間、揖斐川町役場3階防災対策室で「災害ボランティア研修会」を開催しました。今年度の研修会は、揖斐川町と揖斐川町社会福祉協議会との間において締結した「揖斐川町災害ボランティアセンターの設置等に関する基本協定書」に基づき、地域の防災リーダーとなるボランティアを育成し、自主防災意識を高めることを目的に開催しました。研修会では、NPO法人大垣防災支援ネットワークの講師の方を中心に、各関係機関の専門分野の方を講師にお招きし、3日間のカリキュラムで講義・グループワークを実施しました。

1日目は、「揖斐川町で起こりうる災害の概略や国土交通省の取り組み」、「地震が起きたらこうなる」など講義を中心に実施しました。2日目は、「災害時における住民の役割や被災地の復旧・復興とボランティアの役割」、また「災害図上訓練（DIG）」では、揖斐川町内の地図を使い、災害時に危険が推測される場所や、避難場所の確認を行うなど、自分たちの住んでいる地域の防災対策を検討する方法を学びました。3日目は、「災害ボランティアセンターの役割・設置訓練」などグループワークを交えて実施しました。

最終日には本会長から受講者に「災害ボランティア研修会修了証書および、揖斐川町社協防災ボランティアリーダー証」を授与しました。

受講者からは、「災害について理解することができた」、「ボランティアの重要性を実感した」、「自分の住んでいる地域での話し合いが重要だと感じた」、「ボランティアセンターの重要性を理解できた」など、多くの感想や意見をいただくことができ、災害に対する正しい認識と、自主防災への意識向上につながる有意義な研修会になりました。



▲「被災地の復旧・復興とボランティアの役割」
NPO 法人大垣防災支援ネットワーク 小柳清勝氏



▲災害ボランティアセンターの設置訓練の様子



▲「揖斐川町の防災について」
揖斐川町役場総務課長 今枝文雄氏

ボランティアに関する
問 合 せ 先

揖斐川ボランティア市民活動支援センター（揖斐川町社会福祉協議会内）
TEL: (0585) 23-0411 FAX: (0585) 23-1678

第2回揖斐川町福祉委員会開催

11月30日（金）、谷汲保健センターにおいて「第2回揖斐川町福祉委員会」を開催し、町内11地区の福祉委員の代表19名が参加されました。

この会議では、福祉委員の具体的な活動について再確認を行いました。特に異常気象時の活動については、「警報が出ている時や危険な状況での活動は絶対に行わない」とことを徹底しました。

また、意見交換では「見守りカード」と、「救急医療情報キット」の地域での取り組みについて話し合っていました。積極的に取り組んでいる地域もある反面、なかなか住民に周知ができておらず、登録に抵抗がある人が多いという意見も聞かれました。

後半は「視覚障がいを理解しよう!」と題して、谷汲在住の児玉洋子さんに講演をいただきました。日常生活の様子や、障がい者の立場から感じることや理解してほしいことなどを話していただきました。また、障がいを補うための道具や、独自のアイデアなども紹介していただきました。

実際に地域で視覚障がいの方と関わっている福祉委員もみえ、皆さんとても真剣に耳を傾けていました。児玉さんは「障がい者だということを意識しすぎず、勇気を持って声をかけて欲しい。気軽に話かけてほしい。」と強く訴えられました。

この会議での話し合いや講演の内容を、地区の福祉委員に伝えていただくようお願いしました。



▲意見交換の様子

集まろまいか

市場区自主防災組織

市場区では、平成16年に「市場区自主防災組織」が設置されました。向う三軒両隣の助け合いを基礎とし、班ごとに活動内容や役割が決められています。全体的な活動として、毎年、居住者調査を行い、台帳情報の更新と要援護者の確認が行われています。防災訓練ではその台帳を基に避難訓練の状況を把握し、要援護者の避難誘導を誰が行うかを協議したり、災害時のそれぞれの役割を確認するなど、防災意識を高める活動につながっています。

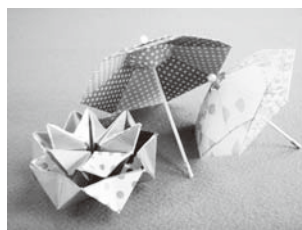
市場区の福祉委員は班長が兼務しているため、区会等で訪問時の状況報告や情報の共有ができています。昨年の台風の接近時には、区長と福祉委員が見守り台帳の登録者を訪問し、注意の声かけも行われました。今後の課題は、昼間時の支援活動を誰がどのように行つか具体的な検討が必要であるということです。隣同士の助け合いを大切にしながら、更に地域の住民の皆さんが安心して暮らせるよう活動を進めてまいります。

「元気ですコーナー」

私は現在、夫と二人暮らしです。介護サービスなどを利用しながら、毎日仲よく暮らしています。私よりも身体が丈夫な夫は、私の生活を支えてくれています。

私の楽しみは「折り紙」。いびがわチャンネルで放送される「折り紙」の番組が大好きで、作り方がわかるまで何度も何度もくり返し見えています。今までに「八角箱」や「万華鏡」に挑戦し、いろいろな模様の作品を作りました。色や模様の組み合わせなどを考えるのも楽しみの一つです。今は「和傘」に夢中です。

こんな私を陰で支えてくれるのが夫で、きれいな包装紙を正方形に切って折り紙を準備してくれます。夫に感謝しながら、毎日楽しく暮らしています。



このコーナーでは、地域に根づいた人と人との温かいつながりをテーマに、各地の行事やエピソード、皆様の声をお届けします。

行事だより

介護者のつどい

(家族介護者交流事業)

12月18日(火)～22日(土)にかけて、揖斐川町内6地区(揖斐川・谷汲・春日・久瀬・藤橋・坂内)において在宅で介護をされている方を対象に「介護者のつどい」を開催しました。内容は正月用のアレンジメントフラワー作りを行いました。

講師の林初子氏は、昨年の国体会場の華やかさを彩る「寄せ植え」で活躍され、実生活では介護もされています。今回は切り花によるアレンジメントフラワーの活動を通じて、参加者へ説明をしながら共に日々の介護からひとときを離れ、花から受ける心の安らぎを持っていただきました。その後、日々の介護についてそれぞれが抱える思いを互いに話し合い、交流を図られました。



▲アレンジメントフラワー作りの様子



▲皆さんうまく出来ました

キッズパワー事業

(共同募金配分金事業)

10月から11月にかけて町内の小中学校において、障がいへの正しい理解を深める学習を行いました。

谷汲中学校、春日小学校、養基小学校では、視覚障がいをお持ちの児玉洋子氏を、谷汲小学校は、児玉洋子氏と身体に障がいをお持ちの山本格生氏をお迎えし、普段の生活の様子や人と人とのつながり、子どもたちに考えてほしいことなどをお話ししていただきました。

子どもたちは積極的に質問をしながら、障がいがある、なしに関わらず相手の立場になって考え、思いやりの心を持つことの大切さを学びました。

お礼の手紙から

児玉洋子さんへ

私達は目が見えているのがふつうです。でも児玉さんは目が見えていませんでした。そういう方を見るのは初めてです。目の前が真っ暗で私だったらとても不安で、じっとして今まで通りの生活なんてできないと思いました。

児玉さんに会えて良かったです。目が見えなくても私達とたいして変わらない生活している人がいると分かりました。私も児玉さんと同じように明るい色が大好きです。一番好きな色は赤色です。黒色も好きだけどやっぱり太陽のように明るいきれいな赤が大好きです。

またどこかでお会いできるといいですね。私はまた会ってお話したいとずっと思っています。

(養基小学校 4年)

理事会・評議員会だより

第4回社会福祉法人揖斐川町社会福祉協議会理事会、評議員会が12月12日(水)に開催され、規程の一部改正、平成24年度一般会計及び特別会計補正予算についての4議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

いびがわ健康福祉フェア2013 福祉ポスター・習字の募集について

「健康で安心して暮らすことができる健康・福祉のまちづくり」を目指して、健康福祉フェア2013を開催します。そこで、福祉のころをみんなに広げていく目的で、福祉に関するポスターと習字を募集します。たくさん応募をお待ちしています。

【応募内容】

◆対象

町内の小・中・高等学校の児童生徒

◆募集作品

◎ポスター 4つ切り画用紙

◎習字

小学校低学年…「きぼう」「こころ」

小学校高学年…「平和」「まごころ」

中学校・高等学校以上…「夢と希望」「地域の輪」

※作品には学校名・学年・氏名を記入してください。

◆提出方法

学校または揖斐川町社会福祉協議会本部または各支所まで

◆締め切り

平成25年2月8日（金）

◆賞品

入賞者には賞品を贈ります。応募していただいた方全員に参加賞を用意しています。

高齢者向け料理レシピ ～生活習慣予防に良い食事を紹介します～

◎豆腐と里芋、白菜のスープ（カロリー 91kcal、塩分 1.3g）

材 料	分量（2人分）
もめん豆腐	80g
里 芋	2個
白 菜	1枚
塩	少々
こしょう	少々
しょうゆ	小さじ1
ごま油	小さじ1
スー プ	
A { 鶏ガラスープの素 水	小さじ1/2 1と3/4カップ

①里芋は乱切りにし、塩でぬめりを洗う。

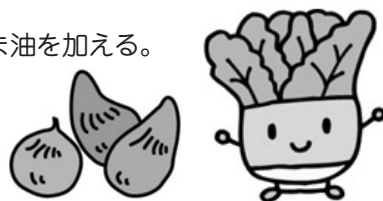
②白菜は2～3cmの短ざく切りにする。

③豆腐は1～2cm角に切る。

④鍋に(A)のスープと①を入れて、里芋が柔らかくなるまで煮る。

⑤②と塩、こしょうを加え、沸騰したら③、しょうゆを加えて煮る。

⑥仕上げに香りづけのごま油を加える。



脳トレコーナー

認知症予防等のための「脳のトレーニング」クイズです。

正解者の中から抽選で5名様に、図書カードをプレゼントします。

●応募要項

ハガキに答え・住所・氏名・年齢をご記入の上、下記までご応募ください。また、社会福祉協議会に対するご意見、ご希望もあわせてお寄せください。

●応募先

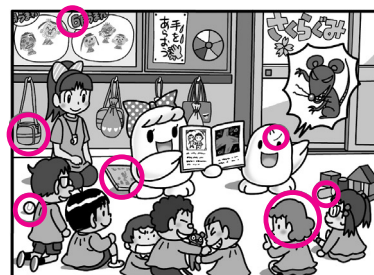
〒501-0603 揖斐川町上南方193番地
揖斐川町社会福祉協議会 地域福祉係

●応募期間

平成25年1月25日（金）～平成25年2月8日（金）必着
※発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。
※先月号の答えは…

～なぞなぞ～
何と読むでしょう？

かきくにこ





施設だより



谷汲 デイサービスセンター

谷汲デイサービスセンターでは12月13日（木）、14日（金）、毎年恒例の「クリスマス会」を開催しました。

当日はボランティアグループをお招きして、普段味わうことのできない踊りや歌、読み聞かせ等を楽しみました。歌に合わせて口ずさむ人、踊りに合わせてリズムをとる人、真剣に見入っている人など、それぞれの楽しみ方で貴重な時間を過ごすことができました。

ちょっとしたクリスマスプレゼントを大事そうに抱えて帰られる姿を見て、来年も喜んでもらえるイベントを是非・・・と今からひそかに考えています。



▲ゲームを行っている様子

春日 デイサービスセンター

春日デイサービスセンターでは12月17日（月）、18日（火）、20日（木）、22日（土）の4日間、「クリスマス会」を開催しました。

クリスマス会では、午後のレクリエーション時間内にてボランティアによる余興を楽しみました。「ガマの油売り・外郎売り」や「笑いのヨガ・風船バルーン」など利用者、職員共に楽しいクリスマス会を一緒に過ごすことができました。その後、おやつの間ではクリスマスケーキをお出しし、利用者からは「わあく珍しい・・・美味しい！」と声が飛び交い、観て楽しみ、食べて美味しいと満足された一時でした。



▲ピエロから風船バルーンの贈り物

坂内デイサービス センターもみの木

坂内デイサービスセンターもみの木では12月21日（金）、毎年恒例の「クリスマス会」を開催しました。

今回は、坂内広瀬地区在住の田村清計氏のマジックを披露していただきました。利用者の皆さんは、手品に目を丸くして、「ワァー」と歓声をあげられ、拍手をしていました。赤十字奉仕団の方にボランティアをしていただき、最後にはサンタクロースからプレゼントをもらって、「今日はとても楽しかったわ」と笑顔で楽しくクリスマス会を過ごされました。



▲利用者も参加してのマジックの様子

地域で安心して暮らせるよう支援します 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある方々が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用などにかかわる相談やお手伝いをし、その生活を支援する事業です。

<どんなことができますか>

A. 福祉サービスの利用援助 福祉サービスが、安心して利用できるようにお手伝いします

- 福祉サービスについての情報提供や助言
- 福祉サービスを利用するときの手続き
- 福祉サービスの利用料を支払う手続き
- 福祉サービスについての苦情を解決するための手続き



B. 日常的金銭管理サービス 毎日の暮らしに必要なお金の出し入れをお手伝いします

- 年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- 医療費を支払う手続き
- 税金や社会保険料、公共料金等を支払う手続き
- 日常用品等の代金を支払う手続き

支払いの手続き
など行います。



C. 書類等預かりサービス 大切な書類や印鑑などを安全な場所でお預かりします

- 預貯金通帳
- 証書（年金証書、権利証、契約書、保険証書）
- 実印・銀行印など



<誰がお手伝いしてくれますか？>

各地区の生活支援員、社会福祉協議会職員、西濃地区福祉サービス利用支援センター（大垣市社会福祉協議会）がお手伝いします。

<費用はかかりますか？>

- ・契約に至るまでの相談などは無料です。
- ・契約後の生活支援員によるお手伝いには次の料金がかかります（生活保護世帯は無料です）。

サービス内容	A, B 福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス	C 書類等預かりサービス
利用料金	1 時間あたり 1,000 円 ※ 1 時間をこえると 30 分ごとに 500 円加算	1 か月あたり 500 円

<詳しくは下記までお問合せください>

社会福祉法人揖斐川町社会福祉協議会 在宅福祉係 ☎ 0585-23-0411
西濃地区福祉サービス利用支援センター（大垣市社会福祉協議会内） ☎ 0584-78-8181

平成 25 年度 給食サービス事業の申込み

手作りのお弁当をお届けします！

揖斐川町社会福祉協議会では、ボランティアさんに作っていただいたお弁当をお届けします。
希望される方は、揖斐川町社会福祉協議会本部、またはお近くの支所までお申込みください。

1. 対象者 町内在住の方 * 75 歳以上のひとり暮らしの方 * 80 歳以上の高齢者のみ世帯
2. 配達日 揖斐川・谷汲地区：年 8 回、春日・久瀬・藤橋・坂内地区：年 7 回
(支所によって配達日が異なります)
3. 利用料 1 食 200 円
4. 申込期限 平成 25 年 3 月 8 日 (金)
5. 問合せ先 揖斐川町社会福祉協議会本部または各支所まで
揖斐川 ☎ 23-0411 谷汲 ☎ 56-3700 春日 ☎ 58-0008
久瀬・藤橋・坂内 ☎ 54-2288 (久瀬支所)



次のとおり臨時職員を募集します

◎訪問介護職員（ホームヘルパー）

- ・募集人員：若干名
- ・募集要件：ホームヘルパー 2 級以上の資格がある方

◎介護支援専門員（ケアマネジャー）

- ・募集人員：若干名
- ・募集要件：介護支援専門員の資格がある方

◎看護師

- ・募集人員：若干名
- ・募集要件：看護師の資格がある方

応募方法：履歴書に資格がわかる書類の写しを添えて、揖斐川町社会福祉協議会本部または各支所へ提出してください。

選考：面接の上決定します
採用：随時

高齢者住宅「はなもも」の 管理人を募集します

- ・募集人員：若干名
- ・応募方法：履歴書を揖斐川町社会福祉協議会本部または各支所へ提出してください。
- ・選考：面接の上決定します
- ・採用：平成 25 年 4 月

※詳細については、揖斐川町社会福祉協議会本部までお尋ねください。

～あたたかいころ～

こころあたたまる寄付をいただき誠にありがとうございました。

★松井 親夫様（谷汲）…………… 10,000 円

【東日本大震災義援金として】

★内藤 保様（揖斐川）…………… 45,931 円

★小島西19永会 安達 来様（揖斐川）…… 31,462 円

【平成 24 年 11 月 1 日から 12 月 31 日まで】

～編集後記～

様々な生活環境の中で介護をされている家族の皆様は、日常生活の中で小さな出来事でも辛かったり、苦しかったり……。でも、心が救われたり喜びを感じたりと、心の変化を感じてみえることでしょう。

自然の中で力いっぱい成長し、季節を感じさせる草花から、生きる力や、和みを味わう余裕をもちたいものですね。



2月・3月の予定

2月8日(金) 給食サービス (揖斐川)

13日(水) 給食サービス (谷汲)

3月8日(金) 給食サービス (揖斐川)

12日(火) 給食サービス (久瀬・藤橋)

13日(水) 給食サービス (谷汲)

14日(木) 給食サービス (坂内)

15日(金) 給食サービス (春日)



各支所電話番号

谷汲支所（谷汲保健センター内）	☎ 56-3700	久瀬支所（久瀬振興事務所内）	☎ 54-2288
谷汲デイサービスセンター	☎ 56-3630	藤橋支所（藤橋振興事務所内）	☎ 52-2111
シングルシルバーふれあいの家	☎ 56-3150	坂内支所・坂内デイサービスセンターもみの木	☎ 53-2662
春日支所・春日デイサービスセンター（かすがモリモリ村内）	☎ 58-0008	高齢者住宅「はなもも」	☎ 53-0007